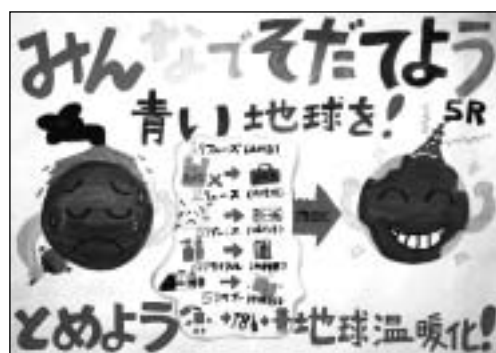


目指せ ゴミ減量 5R推進ポスター・標語 入賞作品決定

環境政策課では、ごみ減量に対する理解と関心を深め、積極にごみ減量に取り組む意欲を高めるため、市内の小学生を対象に、5R推進ポスターと標語を募集したところ、ポスター128点、標語106点の応募がありました。応募作品の中から選ばれた入賞作品については、今後のごみ減量対策の啓発活動に役立てていきます。

ポスターの部



◀最優秀作品

最優秀賞	今津東小4年	高取 誠隆さん
優 秀 賞	今津北小4年	古谷 瑞木さん
	青柳小4年	横井 綺華さん
入 選	今津東小4年	桂田 湖月さん
	新旭北小4年	森田 淳広さん
	青柳小4年	高取悠玄人さん

標語の部

最優秀賞

エコバッグ みんなでつかえば ニコニコバッグ
(マキノ西小4年 寺井 まひろさん)

優 秀 賞

がんばろう ゴミはかならず ぶんべつだ
(マキノ西小4年 山口 雅史さん)
見つけよう 身のまわりの もったいない
(本庄小6年 青井 津樹さん)

入 選

リサイクル ビンやカンには ゆめがある
(マキノ西小4年 木下 敬太さん)
ばいすてノー！リサイクルオー！みんなでもろう
かんきょうルール
(今津東小4年 村井 紀香さん)
リサイクル いらない紙への 思いやり
(本庄小6年 鈴木 里奈さん)

物や資源を大切に使い、ごみを減らし、循環型社会を実現するには、まずは一人ひとりがごみを減らす意識を持つ事が大切です。自分の生活を振り返ってみた時に、必要以上にものを買ったり、まだ使えるものを捨てたりしていませんか？
「ごみを減らす」「5R」を心がけて、環境にやさしい、無駄のない暮らしを目指しましょう。

環境政策課
TEL 08-2233

市のごみの現状

平成20年度のごみの量は、約19,600tで、一人一日当たり平均で984gを排出しています。また、ごみ処理にかかる経費は年間約17億円で、市民一人当たり約3万円、一世帯当たり8・8万円、家庭用ごみ袋1枚当たり400円もの税金が使われています。



Recycle リサイクル 再生利用



使い終えたものを原料（資源）として、別の形でもう一度利用することです。リサイクルされた商品を選ぶこともリサイクルです。

〈具体的には〉

- ・地域での資源回収、古紙回収に古新聞や古雑誌などを出す。
- ・生ごみを堆肥化する。

Repair リペア 修理



壊れたものを修理して使います。ごみを減らすのと同時に、物を大切にすることが育まれます。

〈具体的には〉

- ・破れた服を直す。
- ・古い布を雑巾等アレンジして使う。

現代人はこれまで、大量の資源や燃料を使いたくさんの「もの」を「作り」「使う」「捨てる」という、「便利で快適」と思われがちな生活、言いかえれば「使い捨て」の生活を送ってきました。
しかし、資源には限りがあり、やがては無くなってしまいます。また、このまま「捨てる」という行為を続けていけば、やがてはごみで溢れかえり、地球環境を破壊してしまいます。
そうならないためにも、物や資源を大切に使い、ごみを減らし、環境負荷が少ない「循環型社会」を築く必要があります。そのための行動指針として、高島市では、世界の標準的な考え方である「3R（リデュース、リユース、リサイクル）」に、2つのR（リフューズ、リペア）を加え、「5R」を独自に推進しています。

Refuse リフューズ 断る



すぐゴミになるようなものを買わない、もらわないようにします。また、衝動買いしないのも立派なリフューズです。

〈具体的には〉

- ・マイバックを持参し、レジ袋を断る。
- ・過剰な包装や、コンビニで割りばしを断る。

Reduce リデュース 減らす



毎日の生活の中でごみを作らない工夫をして、家庭から出るごみそのものを減らします。いわゆるごみのダイエット！

〈具体的には〉

- ・必要なものを、必要な量だけ買う。
- ・生ごみの水分をよく切る。

Reuse リユース 再使用



使い捨てをやめ、繰り返し使用することです。

〈具体的には〉

- ・まわりで必要としている人に譲る。
- ・リターナブル（回収再使用）容器を使用した商品を選ぶ。

5Rとは

「5R」は、循環型社会を構築していくための5つのキーワードの頭文字をとったものです。「5R」には、順番があり、バラバラでは意味がありません。次の順番で取り組むことが、最もごみを減らす効果があります。

循環型社会

